HOP, STEP, JUMP in 標津

萌える海と大地　さわやか交流郷

3

No.445／2004
広報しべつ

主な記事

◆ごみの分別方法が変わります。

◆別冊・特集
みんなで考えよう!!
「市町村合併問題」

5,000人でにぎわった「冬のつどい」

2月14日、約5,000人が会場の上田組野球場を訪れ、盛大に開かれた「キラリ標津2004　ナイトイン川北冬のつどい」。昭和61年から隔年で開催され、今年で10回目を迎えました。

今年のテーマは「晨(あした)」。会場には、恒例のジャンボ滑り台や、版画や書、水彩画などの作品を展示した「雪と氷の美術館」雪像が作られたほか、雪上パークゴルフ大会、2,000人ビンゴ大会、歌謡ショー、ふるさと花火などが行われ、冬のひとときを楽しみました。

6月から ごみの分別方法が変わります。

現在、中標津町に建設中の「リサイクルセンター（愛称・くるっと）」が今年七月に稼働する予定です。

新しい施設の完成に伴い、ごみの分別方法が変わることを先月号でお知らせしました。この中で分別の変更時期を四月からとしていましたが、リサイクルセンターの試運転開始時期にあわせ六月からと変更させていただきます。

今月号では施設の概要と分別方法の注意点についてお知らせします。

写真のごみは、分別するとすべて資源になります。「ごみゼロ社会」を目指し、分別にご協力をお願いします。

「リサイクルセンター」稼働します

リサイクルセンターは、中標津町の当幌地区に建設中で、今年七月からの稼働予定です。収集された資源ごみはすべてここに運ばれて処理されます。

施設の稼働は七月からですが、施設の試運転などのため、新しい分別収集は六月から開始します。

この施設は、これまでそれぞれの町でリサイクル処理をしていたものを、中標津・標津・羅臼の三町が共同で効率

★分別の注意点★

燃やせるごみ

▶生ごみの水切りをしてください。

水切りをしていないと不衛生であり、また冬期間は凍って収集車のプレス板が変形してしまいますので、水切りをお願いします。

▶マッチ、ライターは入れないでください。

火災のおそれがあるので、使い切ってから入れてください。なお、ライターは燃やせないごみに入れてください。

資源ごみ

▶６月から分別品目が増えます。

紙やプラスチック製の容器包装物、紙パック、ダンボールが資源ごみに追加されます。

※詳しい分別方法は、４月号にチラシ折込みする「分別一覧表」をご覧ください。

▶汚れを取ってください。

汚れているとリサイクルできません。水ですすぐなど、ご協力をお願いします。

燃やせないごみ

▶スプレー缶は使い切ってから捨ててください。

爆発の危険があります。使い切ってから穴をあけて出してください。

▶割れたガラス、刃物は新聞で包んで。

怪我の恐れがあります。袋が破けないよう、新聞紙などで包んでください。

粗大ごみ

▶４月から冷凍庫、パソコンはリサイクル。

粗大ごみとして処理できなくなります。指定店やメーカーに申込みしてください。

詳しくは次のページをご覧ください。

▶予約が必要です。

戸別収集しますので、これまでどおり住民課へ申込みをしてください。

七月に稼働予定の三町共同利用の「リサイクルセンター」

良く処理しようとするもので、「容器包装リサイクル法」に定める十一品目すべてに対応できます。

十一品目とは、①スチール缶②アルミ缶③びん(無色)④同(茶色)⑤同(その他の色)⑥段ボール⑦紙製容器包装⑧紙パック⑨ペットボトル⑩プラスチック製容器包装⑪トレー・発泡スチロールを言います。

リサイクルセンターでは、この十一品目に新聞と雑誌を加えた物を処理していきます。

〈施設の概要〉

▽所在地…
中標津町字中標津三四線北一九番地の三

▽処理能力…
四・九トン／日

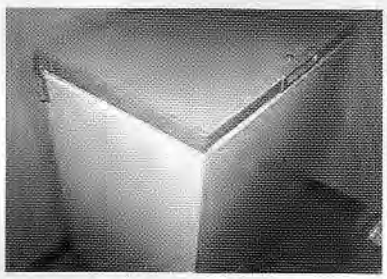
▽延床面積…
一、三九八平方メートル

▽処理方式…
手選別＋圧縮梱包・破砕

4月から…

冷凍庫は粗大ごみとして排出できません

「家電リサイクル法」に基づき、一般家庭や事業所から排出されるテレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機の四品目は、すでに直接取扱店に引き取っていただいています。



4月から冷凍庫は、「家電リサイクル物」に追加されます。

このたびの法律の改正により、四月からは冷凍庫（冷凍ストッカー）も対象となり、四月以降は粗大ごみとして排出することができなくなります。排出する場合はお近くの電器店などに申込みをしてください。

「パソコン」のリサイクルも開始

「資源有効利用促進法」に基づいたパソコンのリサイクル（一般用）が昨年十月から始まり、一部の自治体ではすでに行われています。

町ではこれまでパソコンを粗大ごみとして処理してきましたが、リサイクル促進のため、四月からはパソコンを粗大ごみとして受付することを中止します。

今後パソコンを排出する場合は、次のようになります。

①パソコンメーカーに回収申込をします。PCリサイクルマークがついた製品は料金負担はありませんが、マークの無いものは処理料金がかかります。

②申込みをすると、ゆうパックの伝票が送付されるので、梱包し、郵便局へ持ち込んでください。

なお、自作のパソコンやワープロなど、リサイクルルートにのらないものもありますので、詳しくはパソコンメーカーまたは住民課にお問い合わせください。

★次号では、袋の種類と料金などについてお知らせします。ごみの適正な処理を行うため、ごみの分別にご理解とご協力をお願いします。

★ごみに関するお問い合わせは、住民課まで。

私もできる ごみの減量作戦

ごみはリサイクルするだけでなく、出さない工夫も必要です。

過剰包装や使い捨ての商品は買わないようにしたり、詰替用の商品を利用すると効果的です。

また、ご飯の食べ残しやティッシュの無駄遣いを止めるなど、皆さんも工夫してみてください。

小さなことからコツコツと始めてみましょう。

なぜ?!リサイクル…

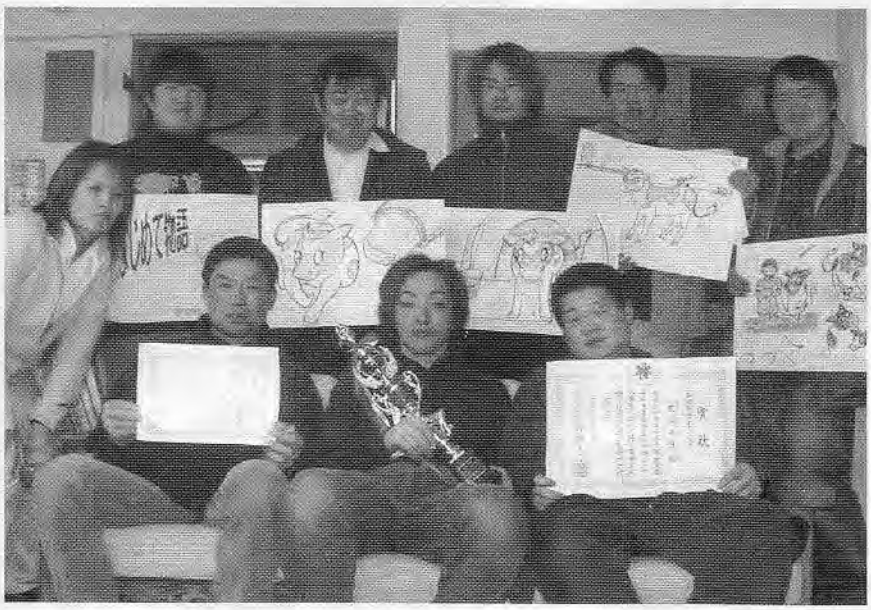
ご存知のとおり、紙は木から、プラスチックは石油から、金属は各種鉱石から作られます。これら原材料から製品を作るまでには多くのエネルギーを必要とします。商品をリサイクルすることにより、原材料を加工するエネルギーと資源の節約になります。

たとえば、アルミはボーキサイトからアルミナを抽出し、これを電気分解して作られます。

一度金属になったアルミ缶を溶かせば製造過程における電気代が97％も節約できます。

アルミ缶3個をリサイクルすることにより、40ワットの電球を1日つけるだけの電気代が節約できることになるのです。

北海道青年農業者会議・研究発表



4Hクラブ

「見せられる酪農へ」をテーマに 最優秀賞！

酪農後継者でつくる標津町4Hクラブ(会員九人)が一月二十二日、札幌市で開かれた北海道青年農業者会議(北海道4Hクラブ連絡協議会など主催)での農村づくり部門の研究発表で、見事最優秀賞に輝きました。

同クラブの発表テーマは、「見せられる酪農へ～酪農体験学習を通して～」。同クラブは、「酪農へのイメージはどうなのか」と、平成十三年に町民千人を対象にアンケート調査を実施。集計結果では、「汚い」「大変そう」など偏ったイメージが多かったことから、酪農に正しい認識を持ってもらおうと、平成十四年から町内の小学生を対象にした独自の酪農体験学習を行っており、この学習内容や成果などを発表しました。

発表では、子供たちに紙芝居や牧場見学で酪農について説明したこと、アイスクリームやバター作りの体験学習の取り組みを通して、「子供たちへの理解を深めることができた」「実物を直接見せることの大切さが分かった」などの成果から、酪農家として自らの経営や生産技術を見直し、牛舎周辺の整備などによる「見せられる酪農」を進める大切さを主張しました。

審査員からは、「教育機関とうまく連携をとり、少ない人数でよくここまで取り組んできた」などと高く評価されました。

会長の渡部英徳さんは、「会員みんなで取り組んできたので、最優秀賞はうれしい。結構忙しかったけど、自分たちも子供たちと楽しみながら活動することができました。これからもこの取り組みを継続していき、やる気のある会員を増やしていきたい」と話しています。

「むし歯ゼロ」の子 32人大集合!!

一月二十日、保健福祉センターひまわりで「歯っぴー☆KIDS表彰式」が行われました。

表彰式では、平成十二年生まれの三～四歳の幼児で、むし歯がゼロのお子さんを「歯っぴー☆KIDS」として、表彰状の授与と記念品の贈呈を行いました。

平成十二年生まれは六十八人。そのうちむし歯ゼロのお子さんは三十二人で、約四十七%という結果となっています。

なお、むし歯のない子の写真とむし歯予防の秘訣などのコメントを次のとおり展示していますのでご覧ください。

▽二月二十六日～三月三日…川北つくし保育園▽三月四日～十日…川北生涯学習センター▽三月十一日～十七日…標津双葉保育園▽三月十八日～二十四日…図書館▽三月二十五日～三十一日…標津病院

最優秀賞　標語は郷野さん　作文は田中さん

〈商工会が「愛町購買運動」で表彰〉

高桑副会長から表彰状を受け取る郷野さん

町商工会では、「愛町購買運動」を推進するため、このほど町内の中学校と学校関係者から標語と作文を募集。審査し、二月二日、標津中学校などで優秀作品の表彰式を行いました。

最優秀賞には、標語が郷野亜希さん(標津中教諭)の作品「標津のお店でお買い物　みんなの心で町づくり」。作文は田中妙子さん(北標津中二年)の作品「これからの標津町」が選ばれました。

郷野さんは、「商店の方々が一人暮らしの祖母に『おばあちゃん、元気かい』と声をかけて、自分の店に置いてない物も買って届けてくれたり、除雪もしてくれたりと、町の温もりを感じ、感謝の気持ちを込めて…」と、田中さんは、「みんなが買い物をしやすいように町が変わればいいなあ」と、それぞれの思いが込められています。

なお、郷野さんの標語は、ステッカーとして町内の商店や主な施設に配布し、地元での購買をアピールします。

◇　◆

〈作文紹介〉「これからの標津町」

田中妙子さん

私は標津町に大型ショッピングセンターがないのが町民を町外流出させる原因だと思います。軽い買い物なら、コンビニでできますが、食料となると結局、大きなショッピングセンターがある中標津に行ってしまうのだと思います。

そして、衣類などを売っている店がほとんどないのも原因の一つだと思います。私は本屋さんや、文房具屋さん、服屋さんなどのお店が一つのデパートになっている店があれば、標津町もにぎわうと思うし、標津町の小学生や中学生、高校生もそのお店で買い物できるし、大人も食品を買ったりできてとても良いと思います。そのような店があると標津にも町民が買い物に来るようになると思います。

そして、町をもっとにぎやかにしなくてはいけないと思います。そのためには、お店の看板などをきれいに明るくしたり、雰囲気を良くしたりすればいいと思います。ただそのような店があるだけでは、気軽に買い物に来たりできないと思います。そして標津町を活気のある町にしていかなければいけません。私達が標津町で買い物をすると人が増え町がにぎやかになります。だから私は、まず標津町を活気のある町にしていかなければならないと思います。

北方四島交流功労者に町から感謝状

北方四島交流事業で、ホームステイや地域住民交流に長年ご協力をいただいた方々に二月九日、小田桐町長から感謝状が贈られました。

感謝状が贈られたのは、次の方々です(敬称略)。

▽川北地区幼小中ＰＴＡ連絡協議会▽藤本謙二(南四西二)▽小川祐司(北標津)▽黒澤哲也(南五西二)

「充実した生き方を考えてみよう！」

「高齢者の地域福祉を進める会」は二月十九日、町文化ホールで、「充実した生き方」をテーマに、高齢者を対象に交流会を開きました。

同会は高齢者の福祉対策として、心のケアを推進することを目的に、昨年四月に町内の有志十三人で発足。以来、日本を代表する医師や文化人の講話集のテープを高齢者に貸し出しているほか、懇談しながら交流を深めています。

この日の交流会には、十四人が参加。始めに「生き方上手」の著書で知られる聖路加国際病院名誉院長の日野原重明さんの講話のテープを聞き、その後、昼食を交えながら、自分たちの生き方について懇談し、交流しました。

参加者の一人は、「ここに来るまでは、自分は年だと思っていましたが、まだ若いんだと感じるようになりました」と笑顔で話し、同会の小川悠治会長は、「これからは心のケアが大切。地道に自分たちの手でできることから活動していきたい」と話しています。

町に300万円寄付

（株）上田組が二月九日、同社の創立五十周年を記念して、「町の振興に役立ててください」と町に三百万円を寄付しました。

受け取った小田桐町長は、「ナイトイン川北冬のつどいや社会教育、福祉対策として有効に使わせていただきたい」と話しています。

「デイサービスセンター」オープン

二月二日、デイサービスセンター・標津はまなす苑がオープンしました。

これまでデイサービスは、特別養護老人ホーム・標津はまなす苑内のセンターで行ってきましたが、利用者の増加から、同ホームの隣に新設。これにより、今までの一日十五人から三十人の受け入れが可能になりました。

同日行われた開苑式（写真左上）では、利用者と関係者ら約四十人が出席。この中で小田桐町長は、「戦前戦後を通じていい日本、いい標津をつくってきた皆さんが、老後を楽しく過ごせることを願って造った施設。この標津で長生きしてほしい」とあいさつしました。

施設は、床面積六百七十平方㍍で、天井が高くゆったりとしたスペースの食堂を兼ねた日常動作訓練室（写真左下）や浴室、事務室などを備えています。また、同ホームに隣接し痴呆棟八床を新設したほか、ショートステイ二床を増設。

デイサービスセンターやこれらの施設の建設費、備品、送迎用バス一台の購入経費などを合わせた総事業費は、四億九千五万円。この財源内訳は、国・道補助金が七千九百二十九万円、標津福祉会社会福祉法人）負担金が三千五百五十万円、健康と福祉の村建設基金からが三億七千五百二十六万円となっています。

ナイトイン川北 CAMERA あ・ん・ぐ・る

夜空に響いた川北中6年生による「お祝い太鼓」

「標太」が浮気?!
（歌手の浅田あつこさんと…）

子供に大人気のジャンボ滑り台

川北のスター？登場！
「みんなで盛り上がろうよ！」とステージで熱唱

「北方領土の日」根室管内中学生弁論大会

北方領土への思いを訴える

「北方領土の日」の二月七日、北方領土隣接地域振興対策根室館内市町連絡協議会主催の根室管内住民大会が根室市で開かれ、中学生弁論発表の部で、本町から田中圭吾くんと竹村光司くんが出場。共に佳良賞を受賞。二人の弁論要旨を紹介します。

「北方領土への思い」

田中圭悟くん
（北標津中３年）

昨年の夏、ファミリー訪問団として択捉島を訪問。それまでぼくは、ロシアの人に対してあまり良いイメージを持っていませんでした。なぜかというと、北方領土出身のおばあちゃんから聞いた話が印象に残っていたからです。

たとえば、ロシア軍の兵隊に貴重品を取られた話など、ほかにもいろいろな話を聞き、ぼくの心には悪いイメージばかりが残ってしまいました。

しかし、ホームステイ先の人は優しく接してくれてとても親切でした。話をしているうちに、自分のイメージしていた人たちとは違い、悪いイメージは、すっかり吹き飛んでしまいました。ぼくはもっと多くの人が北方領土を訪問し、ロシアの人と交流を持ってほしいと思います。

そうすれば、多くの人が北方領土について考えるし、ロシア人に対するイメージも変わるはず。日本人もロシア人もお互いをもっと理解し合う必要があります。そのためには、変な先入観をもたずに、一人の人間対人間として交流する機会を持つ必要があります。

今回の択捉島訪問は、ぼくにとって一生の宝物になる経験でした。択捉島にはとても雄大な手つかずの大自然が残っていました。将来日本人も北方領土に自由に行けて、この雄大な自然をロシア人と一緒に守っていける。そんな日がくればいいなと思います。

「北方領土問題」

竹村光司くん
（古多糠中１年）

みなさんは、北方領土問題を知っていますか。この問題は、日ソ中立条約と言う平和条約を結んでいるにも関わらず、第二次世界大戦後ロシア側が北方領土を占領、それから今まで日本が北方領土の返還を訴えているというものです。

ぼくは北方領土がとても身近にある島々なのによく知らなかったので、すごく興味がありました。ある日「北方四島交流訪問」というので国後島へ行けるチャンスが来ました。

船で四時間半で国後島の港に。三日目の日、ロシア人との意見交換。その中で気になることがありました。それは、国後島の学校では北方領土問題のことを教えていないということです。そうなると、この交流は何のためにやっているのか、これでは日本側が一方的にやっているだけ…。そう考えながらホームステイ先の人との最後のお別れの夜。ぼくはとても悲しく、泣いてしまいました。島の人たちはみんな陽気でやさしかったです。

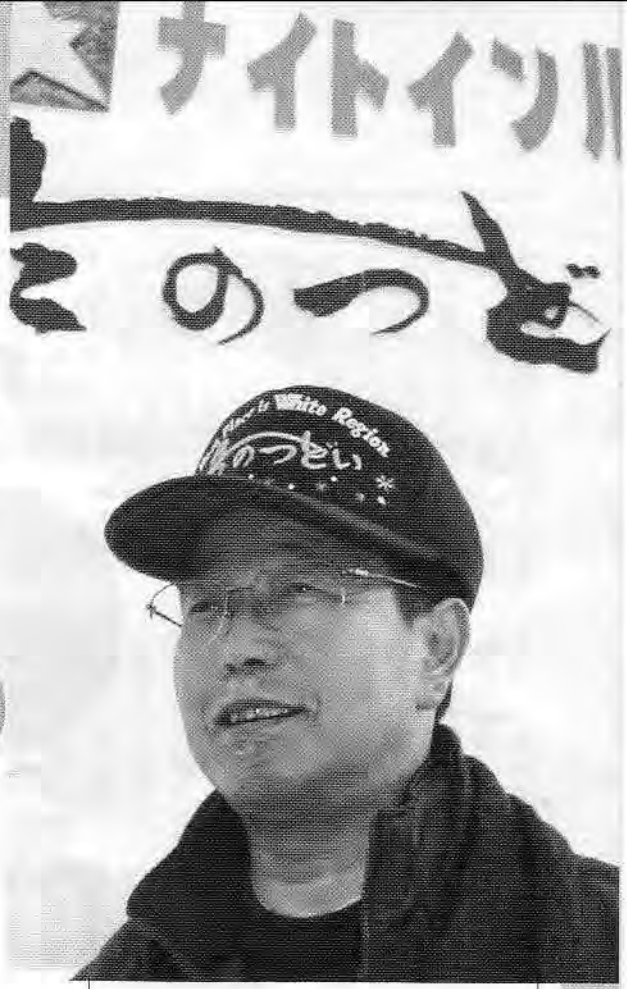
そして今、北方領土問題を考えてみると、今までは、ロシアが約束を破り、日本から北方領土を奪いとったから、日本も奪い返せばいいと思っていました。しかし、国後島を訪問してからは、二国の人が一緒に暮らせればと思うようになり、互いに仲を深め、新しい国のようなものにしていけばいいと思います。

郷野さんが外務大臣から感謝状

二月七日の根室管内住民大会で、郷野一己さん（茶志骨）に、長年の北方四島交流事業での功績がたたえられ、外務大臣から感謝状が贈られました。

郷野さんは、平成四年から始まった北方四島とのビザなし交流事業で、本町を訪れるロシア人島民のホームステイを今までに八回受け入れ、心温まる交流を行い、北方領土返還運動の推進と日ロの友好親善に寄与しました。

郷野さんは、「家族の協力のお陰で、これまで受け入れることが出来ました。これからも北方四島とのビザなし交流事業に協力していきたい」と話しています。



vol. 22

メ・ラ・シ ひと

「〝ナイトイン川北〟は地域の誇りです」

更谷 良勝さん

（川北桜ヶ丘町）

YOSHIKATSU SARATANI

二一月十四日、十回目を迎えた「ナイトイン川北・冬のつどい」。この冬祭りを一回目から実行委員会事務局長として支えてきた更谷さん(60歳)。

「上田組のナイター照明付き野球場が完成した昭和五十六年。当時、地域の結びつきが少なかったので、このナイターを使って、『地域のみんなが集まって、祭りでもやって元気を出そう！』と地域の有志で始めたのが、この冬祭りなんです」。昭和六十一年から隔年開催し、今回で十回目の節目。毎回、会場準備には大変な苦労があります。

「一回目は果たして何人の人が会場に足を運んでくれるんだろうか…と。不安がよぎりましたね。二、三百人も来ればいいと思っていました」。しかし、当日は釧路や根室など町外からも多くの人々が来場し、なんとその予想の十倍もの人出にびっくりしたそうです。

これには、メンバーのうち何人かが涙を流して感激していたのが今でも胸に焼き付いています。この川北地域合わせても六百人ほど。『こんなちっちゃな地域でもやれば出来るんだ』…と。これは自分たちの大きな自信になりましたね」

この祭りを始めてから、地域の一体感がさらに深まったと更谷さんは目を細めます。

「この冬祭りは、一人ひとりの手でつくり上げてきたもので、地域の誇りです。みんな本当によくやってくれています。土木業者、農協、郵便局、共済組合、学校、自衛隊、警察などなど。とにかくみんなが手伝ってくれるのが何よりうれしい。『川北』と言えば冬祭りと、町外の人たちからもイメージされるほどにもなりました」

「自分が四十歳から始めて今は六十歳に。今後はできれば世代交代で若い人たちにバトンタッチし、一回でも長く継続してほしいと願っています」

楽しんでいます。わたしたちの サークル vol. 11

「標津ダンス愛好会」

昭和五十五年に結成。会員は現在十人。代表は石黒実子さん。

毎週金曜日、午後七時から九時まで、「あすぱる」の町民活動室で活動しています。

指導者は弟子屈町から招き、「分かりやすく、丁寧に」をモットーに指導にあたっています。マンボ、ワルツ、タンゴ、ルンバ、チャチャチャ、クイック、スローと幅広いジャンルに取り組んでいます。

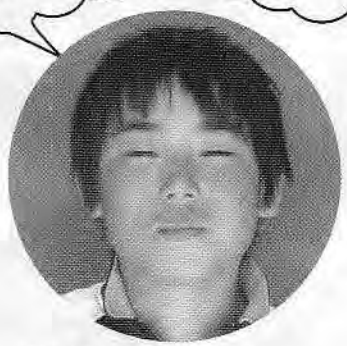
年に一度、町文化ホールで釧根管内のダンス愛好者約百人が集うダンスパーティーを主催。「音楽を聴きながら、体を動かすことは、健康維持にもつながります。とても楽しいですよ」と会員の皆さんは笑顔で話しています。

代表の石黒さんは、「マンボやボックスルンバの簡単なダンスから始めるので初心者でも大丈夫。現在会員募集中。特に男性は大歓迎です」と会員の募集を呼びかけています。

●入会の申込み・問い合わせは、石黒さん(☎2—3313)まで。

My Dream vol.23

ぼ・く・の・夢



小笠原慶祐(おがさわらけいすけ)くん
(川北小6年)

「世界中の人に食べてもらいたいパン」

ぼくの夢は、パンを作る仕事です。なりたい理由は、いろんな人に自分のつくった物をたべてもらいたいからです。そして、できたてのパンをいっぱい買ってほしいです。

自分が一番パンを作るのでやりたいとおもうのは、自分のオリジナルのパンを作りたいなあとおもいます。テレビをみた時に、すごいパンはむずかしいとおもいました。分量をまちがったり、やきすぎたりしても、しっぱいしたら、へんなあじになってうれなくなるとおもうから、たいへんだとおもいました。自分がつくりたいパンは、調理パンです。それで、自分のオリジナルで、たまごとかいろんなくみあわせをしたパンやパンだけおいてすきなふうにたべれるとかしたいとおもいます。

前はピザがつくりたかったんだけど、でも、パンのほうがどんどんあたらしいのができていいとおもったし、パンの店に入るとすごくにおいがよくて、いいなぁーとおもって、自分も、つくりたいとおもってきて、パンがいいとおもいました。そして、一番すきなパンがとうもろこしとウィンナーとマヨネーズでつくるパンで、おいしいなあとおもいました。

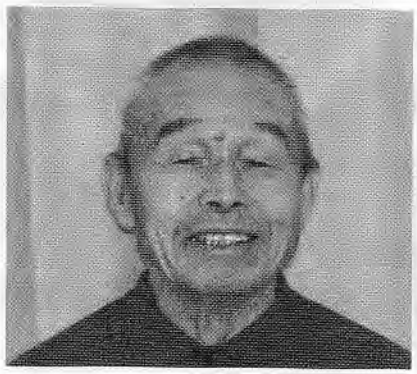
だから、大人になったら、おいしいパンをつくって、いろんな人に、いっぱいかってもらって、たべてもらいたいとおもいました。もし、夢がかなわなくても、自分では、たべれるものをつくる人になりたいです。

vol.23

達者なじいちゃんばあちゃん

Ji-chan Ba-chan

「ゲートボール人口を増やしたいですね」



吉田國吉(よしだくによし)さん
(西古多糠・83歳)

平成元年の手術以降、下肢に障害が残り左足が曲がらなくなったにもかかわらず、町の身障者福祉協会で理事として積極的に活動している吉田さん。

また、健康のために、古多糠地区のほか「ひまわり」まで毎日通ってゲートボールの練習を続け、釧根管内だけでなく、全道各地の大会にも参加しています。「昔から見れば、だいぶ人数が少なくなったね」と寂しがります。

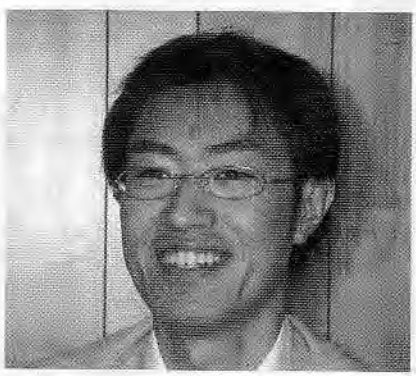
「ゲートボールは健康維持のためにはちょうどいい運動。今はパークゴルフがはやっていますが、何とかゲートボールにも参加してほしい」

「不自由な面もありますが、無理をせず、ゲートボールを楽しんでいきたいですね」

若さでアタック

YOUNG MAN/WOMAN

「『二級建築士』取得に向けて勉強中！」



隅田政次(すみたまさじ)さん
(南4西2・21歳)

昨年四月から藤本建設(株)に勤務し、現場の監督補佐や資材の発注などを担当。

今は「二級建築士」の資格を取るため、仕事の傍ら釧路市の夜間学校に週三回通い勉強中。

休日は仕事と勉強で忙しいこともあり、あまり出歩かず、テレビを見たりゲームなどでゆっくり過ごしているそうです。

「専門学校で学んだことよりも、実際に仕事として覚えることがたくさんあり、すごく大変。でもその分とてもやりがいがあります」と話す隅田さん。

江別市の専門学校を卒業後、「現場で多くの経験を積んで、早く会社の役に立てる人材になれるよう頑張っていきたいですね」

健康いち番！

浜辺美穂 保健師

Miho Hamabe

《今月のテーマ》

ご存じですか？「健康づくり教室」
～お気軽に申込みを～

こんにちは。毎年雪の多さに驚くばかり…。皆さんはいかがお過ごしですか？

さて、標津町では、『健康づくり教室』を開催しています。ご存知でしょうか？町内会や、婦人部その他団体の申し込みに応じて、生活習慣病や食生活、介護予防、転倒予防、救急に関することなど、多岐にわたって保健師、栄養士、歯科衛生士がお話をさせていただいています。

十五年度は、町内会連合会や町内会婦人部などからの申込みがありました。

テーマは、『食事で心も体も元気になろう』『私の健康がんばり度どれくらい？』『頭と体の元気づくり』『成長期の子供の食事について』『自分にあった健康法探しませんか』といったような大人、子供の食事に関するもの、痴呆や転倒予防など様々でした。

さらに、十六年度は、例年のテーマに加え、六十五歳以上（介護保険制度を利用している方以外）の町民を対象にした『介護予防調査』の結果も皆さんにお伝えしていきたいと考えています。

そして、標津町でできるだけ介護を受けずに元気で、生きいきと生活していくためには、今後どのような取り組みをしていけばよいかを、皆さんと一緒に考えていければと思っています。

申し込みについては、各町内会や婦人部その他どのような団体、または少数グループでも受け付けております。ぜひ、保健師、栄養士、歯科衛生士をご活用ください！

＊申込受付＊

四月から随時受け付け

＊十六年度のテーマ＊

①標津町の基本健診の結果と生活習慣病
②歯や歯周病に関すること
③食生活に関することや調理実習
④体の病気の予防
⑤こころの健康管理に関すること
⑥健康づくり全般
⑦健康づくりアドバイザーの講話（薬の飲み方・エアロビクス・水中運動など）
⑧健康づくりのための運動
⑨標津町の高齢者の実態と介護予防（このテーマについては六月以降）

＊人数制限＊

ありません。どんなに少なくてもお受けしています！

健康づくり教室の模様

昨年十月に開催した川北地区町内会連合会での調理実習の模様。メニューは地場産品を使ったヘルシーな「鮭のタルタルソース焼き」

春の子宮がん検診は四月です！

春がそろそろ恋しくなる季節でしょうか？

今年も、春の子宮がん検診を実施します。若年層にも増えている子宮がん、『私は大丈夫』と思わず、年一回は検診を受けることをお勧めいたします。

【対象年齢】

▽三十歳以上（原則）

【日程・会場】

▽四月二十日（火）・保健福祉センター「ひまわり」

▽四月二十一日（水）・川北生涯学習センター

【検診内容・料金】

▽頸部がん検診…一、九〇〇円

▽体部がん検診…一、一〇〇円

▽エコー（希望者）…五〇〇円

★「健康づくり教室」と「春の子宮がん検診」の申込み・お問い合わせは、保健福祉センター・ひまわり（☎2―1515、FAX2―1530）まで。

歴史の写真館 6

文●椙田光明
（標津町ポー川史跡自然公園園長）

「根室国目梨郡薫別村薫別河口之景」と題されたこの写真は、明治三十一年に写されたもので、北海道大学付属図書館に所蔵されています。

薫別川右岸の崖の上から薫別村の集落を写したもので、木造の家屋、二階建ての番屋や干場が川に沿って並んでいます。海岸に面した高台には神社の鳥居と藤野の番屋と思われるひと際大きな番屋があります。川は幾筋にも分かれ水量も多いようです。

薫別河口の景

薫別村は、明治十三年から十六年にかけて鮭の大漁が続いて賑わい、明治二十四年に郵便局、二十五年に私塾、二十六年に巡査派出所や日蓮宗説教所が置かれてきました。明治末期に戸数は四十戸、人口は百六十九人でした。

さて、この写真ですが誰が何の目的で写したものか分かりません。北海道大学付属図書館には明治三十一年に根室地方で写された十二枚の写真が所蔵されています。標津、古多糠、別海、春別、幌茂尻の各集落、ポンルルの鮭孵化場、西別岳、ボッケ温泉（養老牛）西別川上流の山火事跡、根室港と軍艦武蔵、そして、根室港で食料を積む測量員一行です。これらの写真はまだ木の葉が芽吹かない春先に時間を置かずに写されているようです。

明治三十一年の出来事としてハリスト正教会のニコライ主教の伝道巡回や標津原野と西別原野の植民地区画が行なわれています。写真の測量員一行というのは、植民地区画に来た道庁の役人一行だと考えられ、十二枚の一連の写真も植民地区画と関係するように思われます。明治二十年代後半から根室には吉田、藤嶋という写真師が店を構えて出張撮影もしており、どちらかの写真師が依頼されて撮影した可能性があります。

BOOK ROOM

今月のおすすめ 新刊

「僕が最後に言い残したかったこと」
青木雄二著　小学館

肺ガンで余命３か月を宣告された著者が死の病床で語り続けたかなり過激なメッセージ。日本へ、サラリーマンへ、そして息子へ、ここまで言えば爽快な感じさえするのです。

「下手な人生論より中国の故事寓話」
鈴木亨著　河出書房新社

人間の智慧は、中国の古典に出尽くしていると言った人がいますが、この本はその中国古典の入門編。「他者と交わる」「己を磨く」「組織に生きる」など７章７１話の生きるヒントが書かれています。

今月の特集：教　育

３月は、入試・卒業と忙しい月です。でも忙しいとばかりも言っていられません。教育・子育ては次世代を担う子どもたちを育てる重要な仕事です。そこで、今月は教育・子育てに関する本を特集してみました。

《新着図書紹介》

- 「失はれる物語」乙　一著　角川書店
- 「カウンセラー」松岡圭祐著　小学館
- 「総統の子ら」皆川博子著　集英社
- 「ギリシア・ローマの奇人たち」ロジェ＝ポル・ドロワ他著　紀伊国屋書店
- 「お金に縛られない生き方のすすめ」村野まさよし他著　ＰＨＰ研究所
- 「本人の人々」南　伸坊他著　マガジンハウス
- 「走って、負けて、愛されて。ハルウララ物語」重松　清著　平凡社

★図書館　☎ 2-2074

３月のごみ収集日

一般廃棄物収集区域（祭日は休みです）〈有料〉	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ 粗大ごみ
川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	水・土	３日(水) 17日(水) 31日(水)	10日(水) 24日(水)
新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	月・木	１日(月) 15日(月) 29日(月)	８日(月) 22日(月)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町 桜木町・住吉町・東浜町	火・金	２日(火) 16日(火) 30日(火)	９日(火) 23日(火)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

スポーツ

☆３月のスポーツ☆

■1日(月)・4日(木)
ファミリーテニス教室
〔19時～総合体育館〕
■2日～18日の毎週火・木曜日
続・すまいるはっぴー教室
〔10時～総合体育館〕
■7日(日)
第3回根室管内スポーツフェスタ冬季ソフトバレーボール大会
〔9時30分～根室市〕
第23回室内ソフトテニス大会
〔9時～総合体育館〕
■8日(月)
第16回室内ゲートボール大会
〔9時～総合体育館〕
■13日(土)
完全学校週5日制開放
〔10時～総合体育館〕
■14日(日)
第3回雪中300才ソフトボール大会
〔9時30分～町営球場〕

し尿

し尿の汲み取りの申込みは忘れずに

4月のし尿の汲み取りの実施地域は次のとおりです。汲み取りを希望される方は忘れずにお申込みください。

■汲み取り実施地域
川北全域、北標津、西北標津
■申込期限　3月25日(木)
★申込み・お問い合わせは、住民課まで。

郵便局

「エクスパック500」でお手軽発送

定型小包郵便をご利用の際は、エクスパック500の専用封筒が大変便利です。

価格は一律500円。A4サイズの普通紙200枚程度、書籍、CD、ビデオテープなどが、手軽にスピーディーに発送できます。

★お問い合わせは、お近くの郵便局まで。

こんにちは 標津病院です

標津病院
大野高義院長

「慢性頭痛について〈3〉（主に群発頭痛について）」

今回は、慢性頭痛の中で「群発頭痛」についてご説明いたします。

慢性頭痛の中では、これまでにご説明した緊張型頭痛、ついで片頭痛が多く、「群発頭痛」はあまり聞き慣れない病名と思われます。

群発頭痛は、季節の変り目などのある一定期間、毎日のように頭痛が繰り返し起こることから、このような病名がついています。

二十～四十歳台の、ヘビースモーカーの男性に多く、また睡眠中に発作が起こることが多いのが特徴です。

症状としては、始めに目の奥が圧迫されるように激しく痛み、次第に前頭部から側頭部にかけて痛みが広がり、数十分から一時間ぐらい痛みます。また、目の充血や鼻水、鼻詰まりをしばしば伴います。

治療としては、ストレスや飲酒などが発作のきっかけになるので、十分な睡眠を取り、過度の飲酒はさけるようにし、発作の時は、片頭痛同様の治療薬を用いて痛みを抑えます。

さて、今まで三回にわたり、慢性頭痛の中でも代表的な緊張型頭痛、片頭痛、群発頭痛の特徴についてご説明いたしましたが、これらの頭痛はいずれも、命にかかわるようなことはまずありません。

しかしながら、片頭痛や群発頭痛は、痛みがかなり強く、吐き気や視力障害などを伴うことから、初めて発作を起こした場合などには、自覚症状だけではその他の命にかかわるような頭痛と区別がつかない場合もしばしばありますので、今まで経験した事が無いような激しい痛みを感じた場合や、特に、頭痛とともに意識障害や麻痺などを伴う場合は緊急の処置が必要になりますので、きちんと医療機関で診察を受けることをお勧めいたします。

雪かきするぞ―！

1月31日、新町町内会、祭典部、子ども会育成会の人達が集まり、総勢31名で町内会の一人暮らしのお宅や通学路の歩道確保のために、除排雪作業を行いました。

作業は交通量の少ない時間帯を利用して行われ、夜6時から10時まで一斉に取りかかりました。

参加者は、スコップ片手に一汗流し、雪かきを通じて、雪国ならではの人と人との“ふれあい”を深めていました。

◇

※このコーナーでは、友好都市のお互いの話題を毎月の広報誌で紹介しています。

友好都市・青森県 大畑町では…

55

3月の健康相談日程

●乳幼児相談
19日(金)
〔9時～10時・13時30分～14時30分／ひまわり〕
※午前の部～13ヵ月児　午後の部～4・7・10ヵ月児対象

●2歳児相談
19日(金)
〔9時～10時／ひまわり〕
※その他の健診・相談は個人通知します。

★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」（☎2－1515）まで。

町長の動静

（1月21日～2月20日）

【1月23日】
道町村会正副会長と道副知事懇談会（札幌市）
【1月26日】
標津漁協との懇談会
【1月27日】
標津町農協との懇談会
【1月29日】
道町村会役員中央要請（東京都）
【1月30日】
全国町村会定期総会（東京都）
【2月2日】
はまなす苑ディサービスセンター開所式、標津町商工会との懇談会
【2月3日】
根室地域における医療体制のあり方懇談会（中標津町）、管内町長、議長と商工会正副会長懇談会（中標津町）
【2月4日】
道森林管理局帯広分局管内国有林野所在市町村長会議（帯広市）
【2月5日】
香港観光協会との懇談会（札幌市）
【2月6日】
道市町村職員共済組合役員打合せ会（札幌市）
【2月14日】
ナイトイン川北冬のつどい
【2月20日】
町国民健康保険運営協議会
〈以上主なもの〉

防災

火災・救急・救助の通報は局番なしの「119番」へ

■119番通報について

落ち着いて、火事やけが、病人の状況などをできるだけ詳しく伝えてください。

■携帯電話からの通報

本町から119番通報すると、まず釧路市消防本部につながり、標津消防署へ転送電話で通報が入りますが、通報者の声が非常に小さく、聞き取りにくいことがあります。自分の携帯電話に消防署の電話番号を登録しておくと便利です。

－標津消防署－

海の安心セット知ってますか？

羅臼海上保安署では、海での事故対策についてのリーフレットを作成し、漁協や釣具店に配布しました。

緊急ダイヤル118番の浸透や救命胴衣の着用を呼びかけるもので、潮汐表も掲載され、漁業者のみならず海でレジャーを楽しむ方にとっても役立つ内容となっていますので、ぜひご活用ください。

－羅臼海上保安署－

雪上車やスノーモービルなどの乗り入れはやめましょう

知床国立公園や遠音別岳原生自然公園地域、斜里岳、野付風連道立自然公園などの指定地域については、法律により雪上車やスノーモービルなどの乗り入れは規制されています。

また国有林についても、安全上の問題や造林木を損傷させることなどからも許可していません（林道含む）。

昨年3月には、中標津町内の国有林で雪崩が発生し、スノーモービルの走行者が巻き込まれて亡くなったという事故が発生しています。また近年、一部の心ない入林者によるスノーモービルの乗り入れのため、立木の損傷が見受けられています。

このため、道警ではヘリコプターでのパトロールを行っており、森林管理署でも森林パトロールなどの巡視を行っているところです。また、林道入口などでは注意看板を設置し周知を図っていますので、スノーモービルなどの乗り入れは絶対にやめましょう。

－根釧東部森林管理署－

始まりました「公的個人認証サービス」

ＩＣカード（住民基本台帳カードなど）を利用した公的個人認証サービスが、1月29日からスタートしました。

公的個人認証サービスとは、全国どこに住んでいる人に対しても電子証明書を交付するサービス。今後、様々な行政機関への手続きが自宅のパソコンからインターネットを通じて手軽にできるようになりますが、その際、他人によるなりすまし申請や通信途中での改ざんを防ぐ必要があります。

このため、電子証明書を交付することにより、通信上で本人を確認する機能を提供するものです。

●**証明書の手数料**　500円（3月までは無料）

●**申請の方法**

ＩＣカード（住民基本台帳カードなど）および免許証などを持参のうえ申請してください。

★申請・お問い合わせは、住民課(戸籍担当)まで。

戸籍の窓口から

（1月11日～2月10日届出分）

■ご結婚おめでとう

永井　雅仁さん　・　宮越　千恵さん（桜木町）

■お誕生おめでとう

		〈保護者〉
小岩　優輝（ゆうき）くん	（茶志骨）	治　・晶子
石垣　優太（ゆうた）くん	（桜木町）	太郎・忍
木村　温多（はると）くん	（南川北）	幸裕・美幸
石井　柊羽（しゅう）ちゃん	（共栄旭町）	孝行・亜紀子
齋藤　碧（あお）ちゃん	（共栄旭町）	喜則・優子
小野　愛佳（あいか）ちゃん	（寿町）	修市・恵

■おくやみ申し上げます

本田　力さん	（曙町）	71歳
高原ハルさん	（東古多糠）	89歳
森　光雄さん	（曙町）	49歳
狭間正雄さん	（弥栄町）	87歳
木村キヨ子さん	（東浜町）	65歳
南　孝さん	（薫別）	72歳

寄付・寄贈ありがとうございました

●**体育文化振興基金として町に――**

・内田ユリ子さん

●**財政調整基金として町に――**

・(株)上田組

●**キラリ標津2004ナイトイン川北冬のつどい運営費として町に――**

・(株)上田組

●**町社会福祉協議会に――**

・聖友標津支所　・管野正憲さん
・内田ユリ子さん　・イルカの会
・成田次男さん

●**はまなす苑に――**

・龍雲寺梅花講　・ラッコクラブ
・川畑久江さん　・西北標津かわせみの会

●**図書館に――**

・佐藤優耶さん　・佐藤郁弥さん

みんなで加入し、みんなで支える“国民年金”

国民年金は、あなたが主人公です

保険料の納め忘れありませんか？

保険料は、20歳から60歳までの40年間納め、この間に最低25年以上（免除期間やカラ期間を含む）の保険料を納めることが必要です。

保険料を未納のままにしておくと、万が一事故や不幸に遭った場合などに年金が受給できない場合があります（障害基礎年金、遺族基礎年金）。

また、将来年金を受給できる権利を手放してしまうことにもつながります。

このようなことにならないためにも、保険料は必ず納めましょう。

保険料は、社会保険庁から送付される「納付案内書」により、金融機関または郵便局で納めてください。

または便利で確実な口座振替もご利用できます。

～社会保険事務所相談開設日～

▷日時　3月16日(火) 13時～17時
▷場所　中標津経済センター
※本人や配偶者の年金記号番号、加入期間などを調べてお越しください。

★相談・問い合わせは、お気軽に福祉課（国民年金担当）まで。

健康

禁煙にご協力を ～「ひまわり」全館禁煙～

保健福祉センター「ひまわり」では、4月1日から全館禁煙とします。

これは、喫煙者の周辺にいる方々の受動喫煙が身体に悪影響を及ぼすことが健康増進法により指摘されており、健康増進を目指す保健福祉センターとして全館禁煙とするものです。皆さんのご協力をお願いします。

－保健福祉センター「ひまわり」－

募集

緑団地公営住宅入居者募集

■募集住宅
▷老人夫婦向け1ＬＤＫ（Ｅ棟）1戸
家賃：18,900円～
▷単身老人向け1ＬＤＫ（Ｃ棟）1戸
家賃：15,700円～
※いずれも65歳以上の方が対象です。
★申込み・お問い合わせは、建設課まで。

情報化

町ホームページをリニューアル

このたび、町ホームページを大幅に更新しました。「広報しべつ」や「議会だより」、役場の様子、展望室からの風景も閲覧できますので、ご覧ください。

なお、この更新に伴い、標津百科事典、ポー川史跡自然公園のアドレスが次のとおり変更になります（現在のアドレスは今月で廃止）。

■ホームページアドレス
▷役場
http://www.shibetsutown.jp/
▷標津百科事典
http://www.shibetsutown.jp/dic/index.html
▷ポー川史跡自然公園
http://www.shibetsutown.jp/pou/index.html
▷インターネット問い合わせ先
shibetsu-people@shibetsutown.jp
★お問い合わせは、総務課まで。

資金

ご利用ください。教育委員会の援助・貸付事業

町教育委員会では、高校、大学、短大、各種専門学校などに進学、在学中で学資の支弁が困難な方及び子供の学校生活のための必要な資金について、次のとおり援助・貸付をしています。

■奨学資金
▷申込み
申請書に必要事項を記入のうえ「奨学生推薦書」、「在学証明書」、「学業成績証明書」、「健康診断書」を添えてお申込みください。
▷申込期間
3月1日(月)～3月9日(火)
■就学援助
▷対象者
・生活保護を受けている方
・生活保護の停止、廃止などで経済的に困っている方
・長い病気や突発的な事故、災害などで経済的に困っている方
▷受けられる援助費
学用品、体育実技用品、修学旅行費、給食費
★お問い合わせは、町教育委員会（☎2－3110）まで。

税

3月は道税の納税推進強調月間です

道では、3月を「納税強調推進月間」として道税の納税推進に取り組み、滞納の解消に努めます。

道税は住み良い地域社会をつくるための貴重な財源です。みなさんの暮らしを支える道税の納税にご協力ください。

■夜間納税窓口
▷日時　3月25日(木)　午後9時まで
▷場所　根室支庁税務課
★お問い合わせは、根室支庁税務課（☎0153-24-5466）まで。

まちの声…

212

「標津町の現状とこれから」

石川　堅さん　Tsuyoshi Ishikawa
北2西1（有）イシカワ電器勤務）

私は標津町で生活するようになって二十七年になります。

仕事は家業の電器屋をしており、仕事柄、色々な職業や年齢の方々とお話をする機会があり、そんな生活の中で、様々な事を感じたり、考えたりしながら日々過しているわけですが、前号の戸田さんもお話していました市町村合併問題をはじめ、ゴミ問題など、生活をしていく上で重要な問題を抱えているのが現状です。

標津町のみならず、近隣の他町村でも、同じような問題で頭を悩ませている事でしょう。

それに、少子高齢化も大事な問題ですよね。また、若い人達は地元に就職先がなかったり、良い大学を卒業しようにも就職先が見つからない。私たちの年代が十年後、二十年後…には標津町は、日本は、どの様になっているのでしょうか…想像もつきません。数々の不安と隣りあわせで生活をしていかなければなりません。今現在、生活していくことすら困難な時代です。

一次産業に携わっている方々も大変な時代を迎えています。私達の商工業も一緒です。皆が大変な時代を乗り越えなければなりません。努力も、苦労も、今まで以上になるでしょう。

私達も、日々手探りで色々な事に挑戦し、目先を変えて仕事をしていくつもりです。現在の生活環境の変化は凄まじく早いもので、それに伴ってお客様が満足できるサービスを提供できるように、頑張っています。今の時代は、やはり町民皆様方の一致協力、団結をし、道産子「標津パワー」を力一杯発揮して、頑張って行きましょう！

そして、十年後、二十年後…の標津町が…標津町民が元気一杯に過ごしていけるような地盤を住民の一人ひとりが真剣に考えて築いていきましょう。それが、自分の子供達や、孫達…のためでもあると思います。

私は現在「町づくり研究開発会議」に参加しており、今は市町村合併問題を中心に議論をしています。町民の皆様がどうお考えになっているのか、機会がありましたら、お聞かせ下さい。

◇　◆

次の「まちの声」は、音川裕雅さん(南5西2)です。

☆標津町民憲章☆

（昭和46年11月3日制定）

◇健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
◇自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
◇たがいに助け合い暖かい社会をつくりましょう。
◇心を豊かにし文化を高めましょう。
◇子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

編集のまど

▽タウンニュースに掲載した「4Hクラブ」を取材して感心させられました。仕事の合間をぬって、少ない人数でよくここまでやってきたものだと…。研究発表のテーマが「見せられる酪農へ」。メンバーの酪農に対する「やる気」と「意識の高さ」が伝わってくるテーマ。もっと紙面がほしかったほど…。▽さらに先日、開かれた「町観光ガイド養成講習会」にメンバーのうち4人が受講。観光客に地域の魅力を伝える観光ガイド役を買って出ました。「やる気」がここでも伝わってきます。今後のメンバーの活躍がますます楽しみです。（H）

▽「ごみの分別方法の変更」について掲載しましたが、六月から分別品目が今までの五品目から九品目に増えるとともに、冷凍庫やパソコンもリサイクルに。皆さんのご協力をお願いします。▽ごみを減らすための基本である「物を大切に使う」ことと、また「リサイクルをすることの大切さ」を心に留めて、誰もが率先してやっていかなければならないと思います。（A）

人のうごき

・人　口	6,257人	（＋ 4）
・男	3,058人	（－ 4）
・女	3,199人	（＋ 8）
・世帯数	2,361世帯	（＋ 3）

◇平成16年2月1日現在
（　）は前月比

町内の交通事故

・人身事故	2件	（ 2）
・負傷者	5人	（ 5）
・死亡者	0人	（ 0）
・物損事故	22件	（22）

◇平成16年1月1日～1月31日まで
（　）は累計

3月の運転免許更新時講習会

優良運転者で、更新手続きを終了した方のみ受講できます。

■日　時　3月2日(火) 13時30分～
■場　所　あすぱる
★お問い合わせは、住民課まで。

・標津町ホームページ　http://www.shibetsutown.jp/

発行日／毎月1日　編集・発行／標津町役場 企画振興課（広報統計担当）
〒086-1632 北海道標津郡標津町北2条西1丁目1番3号 TEL 01538-2-2131・FAX 2-3011